

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市女性会館		
課名	男女共同参画課		
指定管理者名	特定非営利活動法人 男女共同参画フォーラムしずおか		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和3年6月7日(月)		
評価委員 ※( )内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 草分 裕美(市民局次長) ②委員 宮城島 清也(生涯学習推進課長) ③〃 鎌田 正代(男女共同参画課長) ④〃 坂巻 静佳(静岡県立大学国際関係学部国際関係学 科 准教授) ⑤〃 加藤 貴幸(静岡県男女共同参画センター交流会議 理事)		
評価点 (各委員平均点)	92.2点	評価	Ⓐ・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>指定管理者は施設の設置目的を十分に理解し、コロナ禍においても、講座をオンライン開催にするなど、創意工夫をして、協定書における仕様書や各年度の事業計画書に沿って事業を良好に実施している。</p> <p>講座の企画運営は、男女共同参画分野をはじめとした社会情勢の変化を踏まえ実施されている。</p> <p>指定管理第3期における新規事業の相談業務は、年々相談件数が増加傾向にあり、複雑なケースも発生しているが、各支援機関と連携することで適切に実施できている。また、令和元年度から性的少数者に対する相談を開設している点は評価できる。</p> <p>利用者ニーズの把握については意見聴取の場が限定されている、アンケートの母数が少ない等の課題が見受けられるため、幅広い意見を吸い上げ、事業の企画運営に反映できるような取組が必要である。</p> <p>また、目的をもって来館する利用者だけでなく、男女共同参画に関心が薄い人や、静岡市女性会館を利用しない・認知していない層に対して、SNSの利活用等による情報発信をすることで、新規利用者の獲得を期待したい。</p>		

## 総合評価結果総括表

施設の名称 [ 静岡市女性会館 ] 課名 [ 男女共同参画課 ]  
 指定管理者名 [ 特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか ]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
<b>1 履行状況の確認 【配点50点】</b>						
(ア) 職員が女性会館の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解している。(5点)	5	4	5	5	5	4.8
(イ) 計画書等に示された事業が予定どおり円滑に実施されている。(10点)	10	8	10	10	8	9.2
(ウ) 適正な能力を持った職員が適正な人数で配置されている。(5点)	5	4	5	5	5	4.8
(エ) 利用団体に対して、指導助言を行い、団体活動支援を行っている。(5点)	5	5	4	5	3	4.4
(オ) 利用者に対して、施設や講座等の情報提供に努めている。(5点)	5	4	4	4	4	4.2
(カ) 職員の利用者に対する応対が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに、利用者の信頼感を得られるよう努めている。(5点)	5	4	5	4	4	4.4
(キ) 施設及び設備等の利用許可に関する業務が適切に実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(ク) 適切な会計処理がなされ、概ね予算どおりに執行されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(ケ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
小 計	50	44	48	48	44	46.8
<b>2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】</b>						
(ア) 指定管理者のもつ専門性・技術等を活かした様々な事業が企画・実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、情報を積極的に市民に提供している。(5点)	5	4	4	4	5	4.4
(ウ) 利用者が安心・安全・快適に利用できるよう努めている。(5点)	4	3	5	4	5	4.2
小 計	14	12	14	13	15	13.6

3 市民（利用者）のサービスの向上		【配点15点】				
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。 (10点)	8	8	10	10	8	8.8
(イ) 利用者の意見等を積極的に集める仕組みをつくり、意見等に対して速やかに対応している。(5点)	4	4	4	4	4	4
小 計	12	12	14	14	12	12.8
4 施設固有の評価項目		【配点20点】				
(ア) 複合施設として葵生涯学習センターと連携・協力し、施設の運営を行っている。(5点)	5	5	4	4	5	4.6
(イ) 静岡県男女共同参画行動計画に沿った事業運営が実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(ウ) 図書コーナーを適切に運営し、男女共同参画に関する情報の収集、発信に努めている。(5点)	5	5	5	5	4	4.8
(エ) 各相談業務を実施し、様々な問題や悩み等の相談に応じ、適切な支援をしている。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
小 計	20	19	19	18	19	19
合 計	96	87	95	93	90	92.2

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
<p>・当該施設の設置目的は、「女性を取り巻く諸問題に関する学習及び活動の振興」であるが、社会情勢を反映した静岡市の男女共同参画計画の広がりとともに、女性会館で実施を要請される業務は非常に多様化してきた。また、2020年以降は、COVID-19の感染拡大により、従来の方法での業務の実施が難しくなるという状況にも直面した。当該指定管理者は、このような業務の多様化と社会状況の変化に柔軟に対応して、業務を的確に遂行してきたと評価できる。</p> <p>・とりわけ、情勢の変化を踏まえつつ、様々な手法を工夫しながら、相談事業を展開し続け続てきたことは高く評価できる。また、相談事業で得られた知見を、その他の事業に還元し、各業務を有機的に関連させながら、事業全体を発展させてきていることは特筆に値する。当該指定管理者は、女性会館の指定管理者としての業務および期待される役割を十分に果たしてきたといえよう。</p> <p>・あえて課題をあげるとすれば、新規利用者の獲得であろう。アンケート結果等から、一定数のリピーターは確保されていることが伺われる一方で、新規来館者の割合は多いとはいえない。必要なサービスを必要なひとに届けるために、SNSの利活用を含め、広報活動の一層の充実が求められよう。そのためには、利用していないひと、又は、利用したいけれどもできていないひとの意見を集められるような機会を設けるといったこともひとつの方法かもしれない。</p>

#### 【B評価委員】

- ・仕様書に沿い、質の高い事業が行われており、大きな問題点は見当たらない。
- ・本市の男女共同参画に係る課題や現状の把握も的確である。
- ・NPO法人で問題となりがちな世代交代についても、先を見越して取り組んでおり、今後も安定した運営を期待できる。
- ・特に、団体活動や交流の支援において、指定管理者だからこそできるネットワークを活用し、さらに充実されることと、相談事業において、5年間の運営経験を踏まえ、他の関係機関との連携をさらに図りながら、困難な女性を支える仕組みとしての機能を充実されることを期待する。

#### 【C評価委員】

- ・令和元年度後半から、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、事業実施等が計画どおりに進められるか危惧された中、指定管理者スタッフ一同が経験から得たノウハウや市内外のネットワークなどを生かし、きめ細かく創意工夫され、男女共同参画社会の実現に向けての課題解決に取り組んだ努力・熱意は評価できる。
- ・指定管理者の業務遂行状況は大変良好であり、女性会館の男女共同参画推進の拠点としての役割は十分果たされている。
- ・ジェンダーギャップ指数の国別順位の低さが言われて久しいが、特に「政治」分野における低迷が懸念される。静岡市の女性議員が現在3人という現状も看過できない。
- ・女性会館では、これまで数多くの講座等を開催し、多くの女性リーダーを輩出してきているが、今後の男女共同参画の推進力をアップするためにも、この現状を打破することに繋がるような企画立案があればとさらに期待するところである。

#### 【D評価委員】

- ・講座や出版物については、高いレベルで実施できている。アウトリーチにも力を入れており、単なる施設管理に留まらず、施設のミッションを意識した事業展開ができている点は評価できる。
- ・相談業務については、まだ、試行錯誤している状況が見受けられるが、相談員のメンタルヘルスケアなども行うなど現場の状況を把握した上で必要な取り組みを行おうとしていることは分かる。施設の性質上、支援対象者への伴走型支援の重要性が高まっていくことが予想されることから、今後も重視して取り組んでいくことを期待する。
- ・施設管理については、利用者ニーズの把握の視点があまり見えないように思われる。葵生涯学習センターとの連携を深めるとともに、利用者ニーズの把握に努め、施設全体としてのサービス向上に繋げるよう取り組んでもらいたい。

#### 【E評価委員】

- ・施設運営、事業実施について、施設のミッションを理解した非常に良好な運営状況である。
- ・今後も、利用者の変化に対応した運営を行うとともに、新たな利用者の掘り起こしにつながる取組を期待したい。
- ・また、相談業務の活用として掲げている「市の施策につながる資料提供」により、市の施策が現場の声をとらえたものになるような取組を深めてもらいたい。

#### 評価委員会としての意見

指定管理者は施設の設置目的を理解し、仕様書に沿って講座の企画運営をはじめとした業務が高い水準で実施していることが、講座受講生の満足度等の数値から伺える。

施設固有の図書コーナーの運営は職員の高い資質を活かし、創意工夫をしながら、継続できているといえる。また、今期から実施している相談事業の運営状況も良好だが、年々複雑・困難なケースが増加しているため、更なる支援体制の充実を期待したい。

一方で利用者ニーズの把握が限定されていることが見受けられるため、多くの利用者からニーズを聞き取ることが必要である。

さらに、施設利用者だけでなく、潜在層へのアウトリーチの強化により、新規利用者の獲得を期待したい。